



別科助産学専攻 5・6月の様子



5・6月はグループで事前学習をしたり、授業を組み立ててみんなの前で発表したりすることも多く、あっという間に2ヶ月が過ぎました。とても濃い2ヶ月だったと思います。



3人グループで授業を行っている様子です。授業の準備は大変ですが、「人に教える」ことで知識が定着していきます。



新生児の直腸温を計測している様子です。

「反射の反応を自分自身が体験した方が覚える！」ということで、実際に身体を使って確認しています



内診の演習です。真剣な表情！！

妊婦体験をしました。実際に体験することで妊婦さんの動作や姿勢の特徴を学びました！

先生の講義だけでなく、学生同士で教えあい、学びあうことで知識がより定着していきます。

また実際の現場では、助産師はチームワークが大切になります。チームワークの形成に必要なスキルも、この学生同士のグループワークによって培われていると感じます。



Dr が担当して下さる講義もたくさんあります。ここには新生児蘇生演習の様子を載せています。実際の現場を想定した事例が出され、その事例に応じて必要な蘇生を行いました。緊迫感漂う演習でしたが、実践に即した演習であり、とても勉強になりました。

帝王切開後の新生児の蘇生を想定しています！新生児蘇生のアルゴリズムに沿って進めていきました！

